KADOKAWA

ASCII MEDIA WORKS

ご 案 内

報道関係各位

2016年8月4日

株式会社KADOKAWA

ASCIIが贈るハードウェア／IoTのスペシャルイベント＜第2弾＞ ハードウェアイノベーションの最先端がわかるIoTカンファレンス

IoT＆H/W BIZ DAY 2 by ASCII STARTUP

2016年8月26日（金）開催！

株式会社KADOKAWA（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：松原眞樹）アスキー・メディアワークスでは、スタートアップ・ベンチャーに関わる情報を提供する「ASCII STARTUP」企画を、IT情報総合サイト「ASCII.jp」（http://ascii.jp/）およびウェブ版「週刊アスキー」（http://weekly.ascii.jp/）にて掲載しております。ハードウェアやIoT（Internet of Things、モノのインターネット）関連プロダクトに関するスタートアップ企業と、ともに事業を検討したい企業のためのセミナー・展示交流イベント第2弾「IoT＆H/W BIZ DAY 2 by ASCII STARTUP」を、8月26日（金）、東京・飯田橋のKADOKAWA富士見ビルにて開催いたします。

第1弾として今年3月に開催した「IoT＆H/W BIZ DAY by ASCII STARTUP」では、3セッションのセミナーと、ハードウェア／IoTスタートアップ企業20社による展示、実機デモ、物販などを実施、約400名のお客様にご来場いただきました。イベントの開催により多くのビジネスマッチングや、クラウドファンディングの実績上昇などの成果が得られたことを受け、第2弾となる今回のイベント開催が決定いたしました。今回も、魅力的な登壇者によるセミナーや、多様な企業による出展ブースを予定しております。また、IoT/ハードウェアのスタートアップ関係者が一堂に会する場として、前回以上にネットワーキングの活性化をはかるため、参加者同士の交流を深めるマッチングツール「Jublia」を利用、イベント開催前から参加者同士のミートアップを促進していきます。

↑ イベントイメージ（写真は前回開催時の様子）

イベントの詳細情報は、「ASCII.jp」内【ビジネス】ページ（http://ascii.jp/biz/）、および、ウェブ版「週刊アスキー」内【ASCII STARTUP】ページ（http://weekly.ascii.jp/sp/startup/）にて掲載・更新してまいります。

■スペシャルイベント「IoT＆H/W BIZ DAY 2 by ASCII STARTUP」概要

【イベント名称】IoT＆H/W BIZ DAY 2 by ASCII STARTUP
【開催日時】2016年8月26日（金）11時30分～18時（予定）
【開催場所】ＫＡＤＯＫＡＷＡ富士見ビル（東京都千代田区富士見2-13-12）
【入 場 料】カンファレンスチケット（1セッションにつき1,000円・税込）
全カンファレンスフリーパス【EventRegist限定】（4,000円・税込）
展示エリア入場チケット（無料）
【参加申込先】《EventRegist》 http://eventregist.com/e/IoTASCII2
《Peatix》 http://peatix.com/event/188446/view
【イベント内容】
◆カンファレンス：5セッションを実施予定
<セッションA>
・基調講演　日本のモノづくり（ハードウェア）とIoTに関する国家戦略
・ニッポン放送×Cerevo×グッスマが作る新ハード「Hint」中間報告
<セッションB> 新産業を作り始めたB2B IoT成功の鍵とは？
<セッションC> IoTハードウェアスタートアップ 気になる量産化の裏側
<セッションD> 日本企業だからできる製造大手が進めるイノベーション新手法
<セッションE> IoT・VRで交わるスタートアップ×マウスコンピューター（仮）
◆展示エリア：ハードウェア／IoTスタートアップ企業による展示、実機デモ、物販など

【参加方法】カンファレンス / 展示エリア共に事前登録制
【主　　催】ASCII STARTUP
【協賛・協力】ニッポン放送、MCJ、アペルザ
【レジストレーションスポンサー】イベントレジスト
【ドリンクスポンサー】伊藤園

■カンファレンスセッションについて ※登壇予定者は2016年8月2日現在のもの、順不同

▼カンファレンスセッションA　11：30～

<基調講演　日本のモノづくり（ハードウェア）とIoTに関する国家戦略>

【登壇者】石井芳明氏（経済産業省）

●石井芳明（いしい・よしあき）

経済産業省にて、中小企業政策、ベンチャー政策、産業技術政策、地域振興政策等に従事。2012年から経済産業政策局新規産業室新規事業調整官として、ベンチャー支援、オープンイノベーションによる新規事業創出支援を進める。早稲田大学大学院商学研究科卒　博士（商学）

<ニッポン放送×Cerevo×グッスマが作る新ハード「Hint」中間報告>

【登壇者】吉田尚記氏（ニッポン放送）、メチクロ氏（SF Inc.）、柴田健士氏（Cerevo）
【モデレーター】伊藤有（ASCII）

●吉田尚記（よしだ・ひさのり）

1975年12月12日、東京生まれ。ニッポン放送アナウンサー。「マンガ大賞」発起人。『ミュ～コミ+プラス』（月～木曜日24時より放送中）のパーソナリティとして「第49回ギャラクシー賞DJパーソナリティ賞」受賞。著書『なぜ、この人と話をすると楽になるのか』（太田出版）が累計12万部（電子書籍を含む）を超えるベストセラーに。2016年6月23日には、コミュニケーションが苦手な人に贈る、今日から人との会話が少し楽になるコミックエッセイ『コミュ障は治らなくても大丈夫』（KADOKAWA）を発売した。マンガ、アニメ、アイドル、落語、デジタルガジェットなど、多彩なジャンルに精通しており、年間100本におよぶアニメやアイドルのイベントの司会を担当している。自身がアイコンとなったカルチャー情報サイト「yoppy」（http://www.yoppy.tokyo/）が展開中。

●メチクロ（めちくろ）

SF inc.所属／MHz主宰
マンガ・アニメ・オーディオなど、GEEKシーンの最深部で活動するアートディレクター。SF inc.所属。サウンドからブランドコンセプトに至るまでトータルにディレクションするプロダクトデザイナーとして、個性的なオーディオ製品を多数手掛けている。代表作：TOON workshop『THP-01』・FOSTEX 『HP-A8』『HP-P1』『KOTORI 301』等。また、クリエイティブレーベル『MHz』の主宰として、マンガ・アニメ関連のデザインワークも多数手がけている。代表作：『シドニアの騎士』『BLAME!』『ハイスコアガール』カバーデザイン等。

【SF inc】http://sfinc.tokyo/
【MHz】http://m-hz.net/

●柴田健士（しばた・たけし）

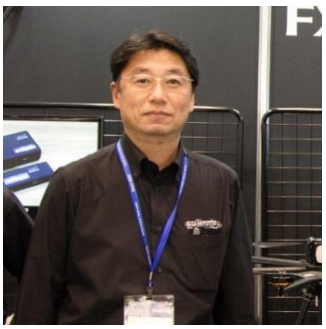
株式会社Cerevoエンジニア。1987年生まれ。2010年に日立グループの家電開発部門である日立アプライアンスに入社、炊飯器・掃除機等の白物家電の筐体設計を担当。2014年に日立アプライアンスを退職し、Cerevoに入社。スマート・スポーツブランド「XON」シリーズ第1弾製品となる「SNOW-1」をメカニカルエンジニアとして開発に参画。現在はBLEラジオ「hint」プロジェクトを担当。

▼カンファレンスセッションB　13：00～

<新産業を作り始めたB2B IoT成功の鍵とは？>

【登壇者】伊豆智幸氏（エンルート）、石原誠氏（アペルザ）、中村龍太氏（NKアグリ）
【モデレーター】大谷イビサ（ASCII）

●伊豆智幸（いず・ともゆき）



株式会社エンルート代表取締役
1985年近畿大学理工学部電子工学科卒業後、横河ヒューレットパッカードへ入社。2006年にラジコンメーカーとして株式会社エンルートを設立。2011年よりUAVのオープンソースであるDIY dronesのメンバーとマルチコプター開発を開始。複数のNEDOプロジェクトに参加し他業種との協業をしながら画像処理・センサー・通信を開発の柱として、無人機本体だけでなく業務に特化した総合的なソリューション提供を行っている。

●石原誠（いしはら・まこと）

株式会社アペルザCEO
新卒で株式会社キーエンスに入社。東京営業所にてコンサルティングセールスに従事。2001年より社内ベンチャープロジェクトとしてキーエンス初のインターネット事業「iPROS（イプロス）」の立ち上げに参画。執行役員として「サービス開発」「メディア運営」「経営企画」を担当。2014年3月にイプロスを退職し、教育系（EduTech）スタートアップである株式会社ポリグロッツを創業。英語学習者向けiPhoneアプリをリリースし、2014年のAppleベストアプリに選出される。2014年9月に創業した株式会社エデュート（Edut）では、教育向けアプリ構築プラットフォームサービスをリリース。数々のビジネスコンテストで受賞を経験。その後、2014年12月に株式会社クルーズを創業。株式会社FAナビ及びオートメ新聞株式会社との経営統合を期に株式会社アペルザの代表取締役社長に就任する。複数のスタートアップ創業経験と、得意とするB2Bマーケティングの知見を生かし、Aperza（アペルザ）の発展に取り組んでいる。

●中村龍太（なかむら・りゅうた）

NKアグリ株式会社　リコピン人参「こいくれない」生産農家兼エバンジェリスト
サイボウズ株式会社、株式会社ダンクソフト　デジタルビジネスプロデューサー

1986年大学卒業後、日本電気株式会社に入社。10年間務めた後、現・日本マイクロソフト株式会社に転職。営業、マーケティングの管理職やビジネス開発など様々な経験を積みながら2009年よりクラウドサービスOffice365の事業立上げに従事。また、同じころマイクロソフト農業クラブを設立。2013年、サイボウズ株式会社と株式会社ダンクソフトに同時転職。更に2015年NKアグリの社員として契約し三重就労中。半IT半Ｘ（エックス）として、課題先進国といわれる日本の社会、企業、組織をインフォメーションテクノロジーとどう向き合って解決するかをプロデュースするかたわら、複業家として日本経済新聞、朝日新聞、日経ビジネス、テレビ東京「ワールドビジネスサテライト」、NHK「経済フロントライン」など多くのメディアに取り上げられ「新しい働き方伝道師」としても活躍中。

▼カンファレンスセッションC　14：00～

＜IoTハードウェアスタートアップ　気になる量産化の裏側＞

【登壇者】西條晋一氏（Qrio）、高萩昭範氏（Moff）、宮坂貴大氏（BONX）
【モデレーター】北島幹雄（ASCII）

●西條晋一（さいじょう・しんいち）

Qrio代表取締役／Coiney取締役／トライフォート取締役
徳島生まれ。96年早稲田大学法学部卒業後、伊藤忠商事に入社。00年にサイバーエージェントに入社。多くの新規事業の立ち上げに携わり、サイバーエージェント・ベンチャーズ、サイバーエージェントFX、ジークレストなど5社以上の代表取締役社長を経験。04年にサイバーエージェント取締役に就任。08年には専務取締役COOに就任、10年からは米国法人の社長としてシリコンバレーでの事業立ち上げを経験。

●高萩昭範（たかはぎ・あきのり）

株式会社Moff代表取締役
3Dモーション認識・評価技術を基に、ヘルスケア・フィットネス・教育に関わるIoTサービスとB向けソリューション提供を行う株式会社Moffの代表取締役。自社センサー端末Moff Bandは日米で販売。米国教育ブランドPBS KIDSやバンダイナムコエンターテインメントなどと提携を発表。メルセデス・ベンツ日本株式会社　商品企画部時代に、ハードウェアモデルの企画・量産・販売を経験。

●宮坂貴大（みやさか・たかひろ）

株式会社BONX 代表取締役CEO
東京大学大学院総合文化研究科修了。スノーボードに傾倒し、日本・北南米・ニュージーランドなど世界を回って滑る傍ら、アウトドアスポーツを通じた子供の教育を行うNPOを、プロアスリートと共に理事として運営。第一子の誕生を契機に、新卒でボストン・コンサルティング・グループ入社。テクノロジー・メディア・通信領域において、マーケティング戦略・施策の立案、M&A戦略の立案・デューデリジェンス・投資実行、M&A後の組織統合などをサポート。BONXの着想を機に3年半後に退職し、株式会社BONX設立。

▼カンファレンスセッションD　15：00～

＜日本企業だからできる製造大手が進めるイノベーション新手法＞

【登壇者】牛尾隆一氏（村田製作所）、光村圭一郎（三井不動産） ほか
【モデレーター】ガチ鈴木（ASCII）

●牛尾隆一（うしお・りゅういち）

株式会社村田製作所　新規事業推進部　新規事業推進4課　オープンイノベーション推進チーム　マネージャー
1991年　三菱化学　株式会社　入社、ハードディスクメディアの開発から量産までを担当。
1999年　Mitsubishi Chemical Infonics社（シンガポール）に出向。
2001年　株式会社　村田製作所　入社、積層セラミックコンデンサの商品開発を担当。
2008年　村田製作所　野洲事業所　研究開発センター　企画管理課在籍中に立命館大学にてテクノロジーマネジメント（MOT）修士を取得。
2009年　本社　技術企画部マネージャーとして全社技術戦略立案を担当。
2012年より、全社のオープンイノベーション推進を担当。

●光村圭一郎（こうむら・けいいちろう）

三井不動産株式会社　31VENTURESアクセラレーター
1979年東京都生まれ。（株）講談社にて週刊誌編集者として勤務した後、2007年に三井不動産入社。オフィスビル開発、プロパティマネジメント業務、部門戦略策定等の業務を経て現職。主なミッションは「スタートアップと大企業の事業共創の実現」。その実験場として2014年、東京・三越前に「Clipニホンバシ」を自らプロデュースし、開設。KDDI「∞Labo」、青山スタートアップ・アクセラレーション・センター等のメンターを務める。

▼カンファレンスセッションE　16：00～

＜IoT・VRで交わるスタートアップ×マウスコンピューター（仮）＞

マウスコンピューター（MCJグループ）が取り組むハードウェア・IoT・VRでのスタートアップ支援と最新の共創成果について、その事例と取り組みの詳細をお届けするスペシャルセッションを予定。

※各プログラムの内容は予定です。都合により変更となる場合がございます。

■出展社について

ニッポン放送、Secual、MAMORIO、ガラポン、kibidango、THRIVE、TeNKYU、NAIN、バカン、ピレネー、Blincam、プログレステクノロジーズ、BONX、まごチャンネル、ユカイ工学、PANORA　　ほか出展予定

＜ご参考＞

■アスキー・メディアワークスとは

アスキー・メディアワークスは、小説、コミック、ゲーム、ホビー、テクノロジーなど、エンターテインメントやPC/IT分野を中心とした事業を展開。出版を基盤に、ウェブ・モバイル、電子書籍、アプリ、映像、音楽、グッズ、ゲーム、イベントなど、メディアを超えてコンテンツをプロデュースしています。

●KADOKAWAオフィシャルサイト： http://www.kadokawa.co.jp/

●アスキー・メディアワークス公式サイト： http://asciimw.jp/

以上

【本件に関する報道関係からのお問い合わせ先】
株式会社KADOKAWA
アスキー・メディアワークス
http://asciimw.jp/